

服部町長所信表明

町の特性を活かし 住みやすいまちに

十二月五日(月)、平成二十八年豊山町議会第四回定例会において、服部正樹町長が所信表明を行いました。全文をお知らせします。

このたびの町長選挙において、豊山町長として、町政をお預かりすることになりました。

初議会に臨み、私の町政運営に対する所信の一端を申し上げます。

鈴木町政では、人々の絆を大切にしながら、公共交通の充実、空港機能の強化、航空機産業の育成支援などに努めてこられました。そして、その成果は、少しずつ形となつて見え始めています。

これまでの町政を継承しつつ、見直すべきものは見直し、これらの成長の種をしっかりとした幹として育て上げ、大輪の花を咲かせるべく、豊山町のさらなる発展、新たな創造を目指してまいります。

そのために、私は、若さと民間企業での経験を活かし、「町民の皆様誰もが住みやすい、住み続けられる町」、そして「豊山町を訪れる方が住みたいと感じる町」に向けて、全身全霊

を傾けて取り組む覚悟であります。

本町には、他のまちにはない、多くの財産があります。

「空港」や「北部市場」、本町に息づく「伝統」や「文化」、これまでに先人が守り育ててこられた「地域の絆」。すべて本町にとつてかけがえのない財産であり、誇りです。これらを最大限に活かし、かつ、有機的に連携させた町政を実施してまいる所存です。

「空港・北部市場」については、これらの立地を活かし、産業と観光の振興を図ります。

人々の交流を促進することで、航空産業のみならず、地域産業全体の活性化を目指してまいります。また、新たなぎわいの創出により、近隣市町との交通便利性の向上につなげてまいります。

豊山に根付く「伝統」「文化」「地域の絆」については、その継承と発展を図ります。

町の歴史や文化の保全を通じて、郷土に対する愛着を育み、地域の絆を活かした、お年寄りや子どもを地域で見

守る安心・安全なまちづくりを目指します。

また、これらの施策を有機的に連携させ、きめ細やかな福祉サービスの提供、人的・知的資源の交流や活用を図った教育行政の向上、さらに、町の安定的で持続可能な財政運営と町の魅力発信を図ってまいります。

私の好きな言葉として「温故知新」があります。先人の方々が大切に守り、育てられてきたことを学び、そこから新しい知識・見解を導くことと理解し、私の政治信条でもあります。

先人の方々が築かれてきた、これまでの力強い足跡と絆を礎に、未来への躍動につなげます。町の特性を活かし、住みやすさにつなげる町政を進めることで、町民一万五千人一人ひとりの幸福の実現と、本町の継続的発展に向けて、常に開かれた町政をこころがけ、全身全霊、誠心誠意に、新しいまちづくりにチャレンジしてまいります。

議員各位を始め、町民の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。